

地方創生推進交付金の活用状況（まとめ）

この制度は、全国の各自治体が行う自主的かつ主体的、そして、先進的な事業を複数年にわたって安定的かつ継続的に支援するため創設されたもので、自治体が策定した、地域活性化の事業に関する目標数値を自治体自らが設定し、それを国が精査して具体的な交付金額が決定されます。

事業の進捗状況を国や地域住民の方に検証してもらうことで、KPI(重要実績評価指標)(1)および事業活動の管理業務を円滑に進める手法であるPDCAサイクル(2)の確立を推進させる効果があります。

自治体に取り組む先駆的な取組等を国の後押しを受けることで、地方における安定した雇用創出、地方への新しいひとの流れ、まちの活性化など、地方創生の深化の実現に寄与するものとされており、総合戦略同様、事業実施に伴う効果について、その検証を丸森町総合計画等推進委員会において行うものとしています。

丸森町が平成29年度から令和元年度まで取り組んできた産業活性化事業について以下のとおりまとめましたので、ご報告いたします。

1 KPI…Key Performance indicator の略。達成すべき成果目標を指す。

2 PDCAサイクル…Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Action(改善)の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

交付金名	地方創生推進交付金（地域再生計画「地域資源を活かした産業創生計画」）												
事業名	産業活性化法人を核とした産業活性化事業（3年間：平成29年度～令和元年度）												
事業費	<p>合計 55,867,071円（地方創生推進交付金 27,862,370円）</p> <table border="0"> <tr> <td>参考：平成29年度委託料</td> <td>16,724,740円（決算額）</td> <td>財源：地方創生推進交付金※（補助率1/2）</td> <td>8,362,370円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度補助金</td> <td>13,019,192円（決算額）</td> <td>地方創生推進交付金※（補助率1/2）</td> <td>6,500,000円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度補助金</td> <td>26,123,139円（決算額）</td> <td>地方創生推進交付金※（補助率1/2）</td> <td>13,000,000円</td> </tr> </table> <p>地方創生推進交付金※ 国費 1/2、残り 1/2 は交付税措置（普通交付税 1/4 ・特別交付税 1/4）</p>	参考：平成29年度委託料	16,724,740円（決算額）	財源：地方創生推進交付金※（補助率1/2）	8,362,370円	平成30年度補助金	13,019,192円（決算額）	地方創生推進交付金※（補助率1/2）	6,500,000円	令和元年度補助金	26,123,139円（決算額）	地方創生推進交付金※（補助率1/2）	13,000,000円
参考：平成29年度委託料	16,724,740円（決算額）	財源：地方創生推進交付金※（補助率1/2）	8,362,370円										
平成30年度補助金	13,019,192円（決算額）	地方創生推進交付金※（補助率1/2）	6,500,000円										
令和元年度補助金	26,123,139円（決算額）	地方創生推進交付金※（補助率1/2）	13,000,000円										
事業目的	<p>地域商社として丸森町の産業活性化に資する「稼ぐ力」のある法人として自立するために、段階的な事業拡大を実現することを目的とし、町の豊かな自然環境を活かした観光と農産物を結びつけた「食と観光」の事業開発及び観光資源を活かした観光産業を展開することで観光交流の人口増加を図り、6次産業化特産品の販売・商品開発、農産物の生産・販売、農業研修生の受入れや体験型農業事業などの実施により自立経営し、新たな雇用の場を創出します。</p> <p>また、これらの波及効果によって町内の観光施設や直売所に賑わいと活力、更なる雇用を生み出し、若者が定住したい地域へ再活性化します。</p>												

【平成29年度】

町からの委託を受け、(株)VISIT東北が次の事業を実施しました。

丸森町の産業活性化を図るため、平成30年度の法人設立へ向けて地域商社としてスタートするための事業戦略、事業計画、財政計画等を立案しました。また、東京や仙台などの都市圏を中心にテストマーケティングを行い、消費者の評価やバイヤーの意見を収集し、売れる商品づくりや販売・生産計画の内容へ活かしました。

【平成30年度】

平成30年4月24日「株式会社GM7(産業活性化法人)」を設立、丸森町の産業活性化に向けて町からの補助を受け、次の事業を実施しました。

株式会社GM7は、地域商社事業・農業生産事業・観光推進事業を3本柱に、資源の掘り起し・ブランド化・販路開拓等を実施、丸森産直イタリアンジェラート「ジェラテリア・ラ・フェスタ」をオープンしました。また、独自のブランドの商品企画も行い、商品の基本設計からマーケティング、販売までワンストップで町の資源を活かした6次産業化に取り組みました。

また、10月には仙台市にコンセプトショップ「Maruphoria」をオープンさせ、町外での販路拡大に努めました。

(主な商品開発：いざ初陣、Marumori Honey、えごまオイルなど)

【令和元年度】

前年に引き続き、「株式会社GM7」が、丸森町の産業活性化に向け、町からの補助を受け次の事業を実施しました。

地域商社として本格的に事業を実施し、段階的な事業拡大に向け、地域資源の掘り起し・ブランド化・販路開拓等を実施し、7月には生タピオカ専門店「どっと堂」をオープン、また、多言語対応ECサイト「MARUPHORIA」を構築するなど、越境ビジネスにも取り組みました。また、農業生産法人化に向け、農業者との連携体制を図り町の資源を活かした6次産業化にも取り組みました。

(主な商品開発：お米のクラフトビールシリーズ、ライスワイン、おニャンだせんべいなど)

「株式会社GM7」の設立

丸森町の6次産業活性化を図る地域商社の株式会社GM7が4月に設立されました。訪日外国人旅行者(インバウンド)向けの観光プロモーション会社VISIT東北(仙台市)を軸に、町などが出資しています。(町の出資比率:4.5%)

地方創生推進交付金実施計画評価シート

地域再生計画（実施期間：平成29年5月30日～令和2年3月31日（3力年度））

重要業績 評価指標 （KPI）	単位	H25 基準値	H29 （目標） 実績	H30 （目標） 実績	R元 （目標） 実績	計画を支える取組（第五次丸森町総合計画（再掲））			
						施策名	【担当課評価】		
							3年間の主な取組と成果	前期基本計画期間（H27～R元年度）の総括	
1	町内事業所数 （町内商工業 者数）	事業所	508	(509) 506	(511) 506	(513) 523	地域企業 を支える 支援体制 の充実 (6・2・3)	<ul style="list-style-type: none"> ・丸森町中小企業支援事業について、融資利率の引下げ、限度額の拡大により、融資件数・総額が大きく伸び、町内中小企業の経営安定と競争力強化に貢献した。 ・経営改善支援事業、丸森いち支援事業、地域小規模事業活性化支援事業について、商工会等が実施する事業に対し補助を行い、おおむね目標を達成した。 ・丸森びと育成支援事業について、未来の匠補助継続中が1件、定着者1件である。 ・起業支援推進事業、「しごと」づくり人材誘致事業により、5名の起業実績をあげることができた。 	<p>H27年度より融資利率を引き下げ限度額も拡大したことから、融資件数・融資総額が大きく伸び町内中小企業の経営安定と競争力強化に貢献することができた。</p> <p>また、起業支援推進事業、「しごと」づくり人材誘致事業により起業者数の目標を達成することができた。</p>
2	6次産業事業 主数	人	24	(25) 27	(27) 37	(30) 42	6次産業 化の推進 (6・1・9)	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品開発・販売促進事業について、仙南地域地場産業振興協議会を通じた地場特産品の物産展へ参加し、PR活動を実施したことで、販路拡大を図る効果があった。 ・農産加工品販売促進事業について、農産加工品即売会に参加し、周知活動を実施した。 ・特産品開発支援事業について、特産品の開発7件に対して補助金を交付することで、特産品の開発を促進する効果があった。 ・地域資源活用事業について、桑園管理を適切に実施し、桑パウダーの加工販売を行った。 ・中山間地域伝統的特産品振興対策事業を実施したことで、特産品の出荷量拡大に寄与した。 	<p>本町の地形を生かして生産される様々な農林産物等を原料とし、生産者自らが加工・販売まで行う6次産業化を推進し、多角的な農業経営により所得向上を図ることができた。</p> <p>また、首都圏で町内地場製品のPRを行い、販路拡大を図った。</p>

地方創生推進交付金実施計画評価シート

地域再生計画（実施期間：平成29年5月30日～令和2年3月31日（3力年度））

	重要業績 評価指標 (KPI)	単位	H25 基準値	H29 (目標) 実績	H30 (目標) 実績	R元 (目標) 実績	計画を支える取組（第五次丸森町総合計画（再掲））		
							施策名	【担当課評価】	
								3年間の主な取組と成果	前期基本計画期間（H27～R元年度）の総括
3	町の人口に占める生産年齢人口の割合	%	53	(53) 52	(54) 51	(55) 51	働きやすい労働環境の形成 (6・2・4)	<ul style="list-style-type: none"> 雇用促進事業について、資金融資の新規貸付が3年間で61件あり、労働者の生活安定に資することができた。 永年勤続優良従業員報奨事業について、永年勤続の功績を称え、3年間で15名の従業員を表彰し、労働者の意欲の向上を図った。 商業協同組合が実施する地域共通商品券割増事業に対し補助金を交付し、地域経済の活性化に繋がった。 	<p>事業を行うことで労働者の生活安定や町内事業者の従業員の士気高揚、労働意欲の向上に資することができた。</p> <p>また、低迷した個人消費の拡大と地元商店街を含めた地域経済の活性化に貢献している。</p>
4	園芸特産物出荷額	千円/年	195,000	(200,000) 173,000	(250,000) 181,324	(300,000) 148,416	農業の生産振興 (6・1・1)	<p>園芸特産振興事業やリース事業用園芸ハウス整備事業等の実施により、本町の重点作物であるブロッコリー・小菊・イチゴ等の園芸作物の施設化と柿の作業効率化等が図られた。</p> <p>また、水田農業における低コスト化や生産性向上の取組支援により、経営の安定化が図られた。</p> <p>加えて、年々拡大する鳥獣被害対策(令和元年度1/31、1,774頭捕獲)への支援、各種団体への活動支援により、農業の生産振興に寄与した。</p>	<p>平成29年度に丸森町農業振興ビジョンを策定し、農家が主体的、能動的に農業所得を稼ぎ出す「儲ける農業」を推進し、令和6年度には農業産出額50億円を目指すこととした。</p> <p>園芸特産作物の出荷額は伸びを見せていたものの、令和元年東日本台風の影響は大きく、減少に転じた。</p>